

2026年3月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済には弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2026年3月27日公表）において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現に変更された。中東情勢の悪化による経済への悪影響はまだ見られないとしつつも、物価の押し上げや個人消費の鈍化につながる可能性に警戒感を示している。

個別項目では、表現変更はあったものの、基調判断に変更はなかった。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に2月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」「輸出」「輸入」「設備投資」「公共投資」「住宅建設」に関する判断が維持された。
- ② 企業活動に関して、「業況判断」「生産」「倒産件数」「企業収益」に関する判断が維持された。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関して、「国内企業物価」についての判断が維持された。その一方で、「消費者物価」に関しては、コメなどの食料価格の値上がりが一服していることなどから、表現が変更された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、中東情勢を始め世界経済の不透明感が高まっている」との表現に変更された。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（2月）は、前年同月比0.4%減となり、3か月連続で前年を下回った。業態別では、近鉄百貨店和歌山店の販売額（2月）が前年同月比0.9%減となっており、2か月ぶりに前年を下回った。

帝国データバンク景気動向調査（2026年2月）によると、和歌山県においては、「前月に引き続き、地元大手スーパーの既存店売上高は前年割れが続いており、果物の売れ行きが前年に比べて減少傾向など物価高を背景に消費者の節約志向が鮮明になっている」としている。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、2月）は、前年同月比11.1%減となり、8か月連続で前年を下回っている。物価高騰や車両価格の値上げなど、新車販売市場を下押しする要因が重なった。また、26年3月末には、取得時に課税される「自動車税環境性能割」が廃止されるため、買い控えや新規登録の先延ばしも一部にみられる。

新設住宅着工戸数（2月）は、前年同月比20.8%増となり、5か月ぶりに前年を上回った。住宅種別では、「貸家」では前年同月比68.7%の増加となった。一方で、「持家」は前年同月比2.4%の減少となった。

② 企業活動面では、鉱工業生産指数（1月）は、前月比2.5ポイントの上昇となった（上昇は6か月ぶり）。「化学工業」「繊維工業」「はん用機械工業」等で生産指数が上昇した。「食料品工業」については、生産指数は下降したが、高い水準を維持している。

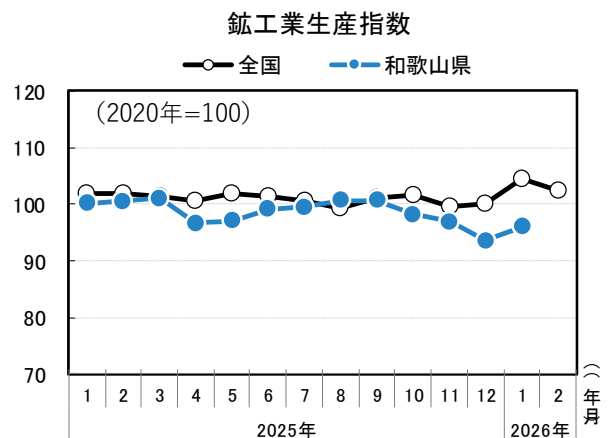
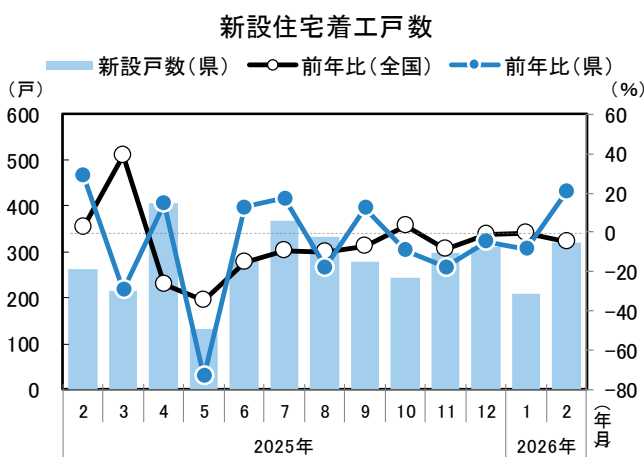
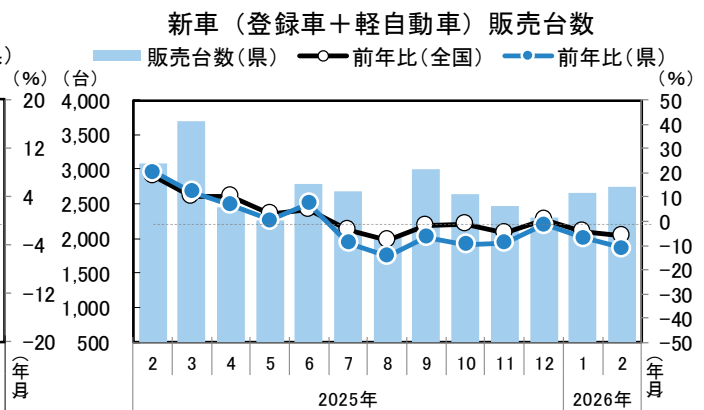
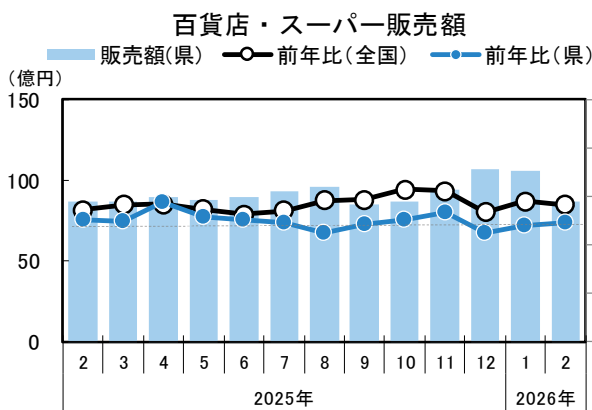
一方で、「金属製品工業」では生産指数が下降しており、2026年1月の生産指数は16.4と低い水準となっている。

公共工事請負金額(2月)は、前年同月比23.8%減となっている(減少は2か月連続)。ただし、4月~2月累計での請負金額は前年同期比2.0%減となっている。

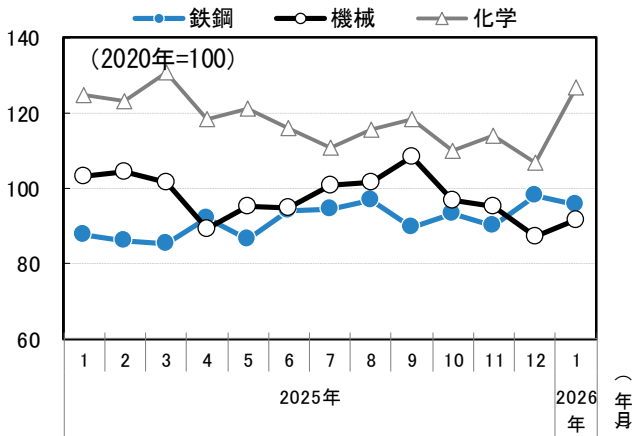
一方で、内閣府「月例経済報告」によると、国内の公共投資は「底堅く推移」しており、全国における2月の公共工事請負金額は、前年同月比4.2%増となっている。

帝国データバンクが発表している県内TDB景気DI(2月)は、前月から2.0ポイント上昇した(上昇は3か月ぶり)。2か月ぶりに40ポイント台を回復したが、全国の値に比べると依然低い水準にある。製造業の景気DIが4か月ぶりに下降する一方、建設業は6か月ぶりに上昇した。帝国データバンクは「個別企業におけるDIの差が広がりつつある」としている。

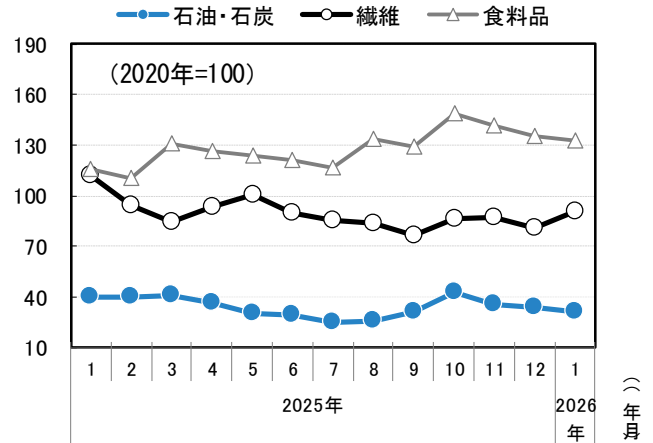
③雇用面については、有効求人倍率(2月)は、約5年ぶりの低水準となった前年12月に比べてから0.01ポイント上昇し、1.01倍となった。このような状況の要因としては、前年11月に、最低賃金が65円引き上げられ、事業者の人件費負担が増加しており、求人控えが起きている可能性が挙げられる。宿泊業、製造業を中心に新規求人数が前年に比べて少なくなった。今後の県内雇用情勢については、これまで以上に注視する必要がある。



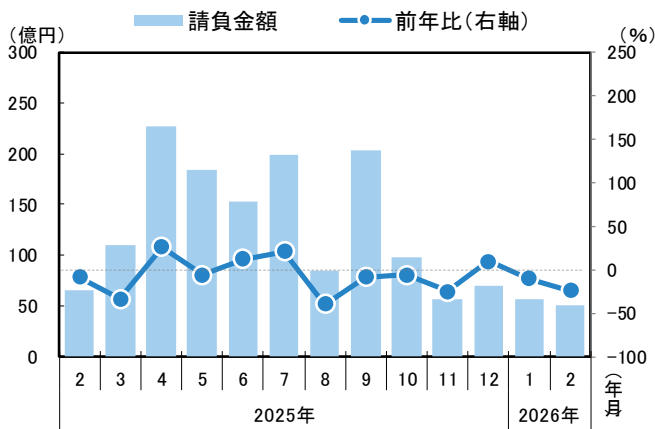
鉱工業生産指数（和歌山県）



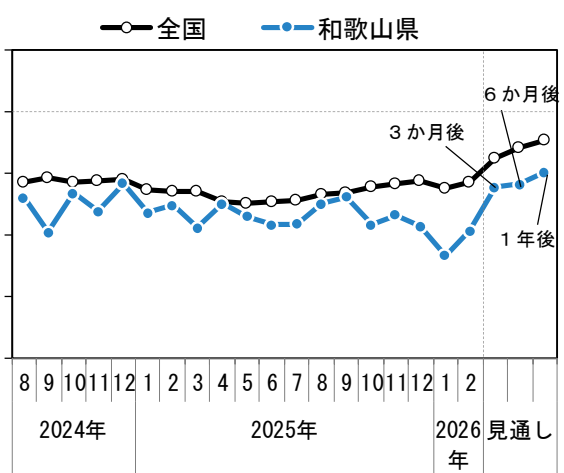
鉱工業生産指数（和歌山県）



公共工事請負金額（和歌山県）

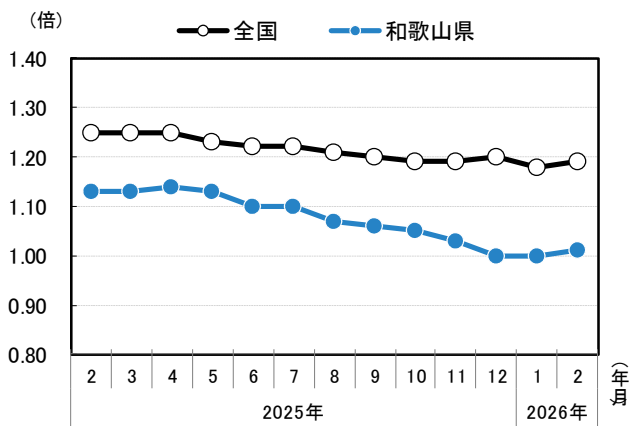


TDB景気DI（判断の分れ目は50）



(資料) 株式会社帝国データバンク

有効求人倍率



(1) 個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年	1,107	3.6	0.1	19,231	-5.6	-6.6	3,800	-3.3	-4.0
2025年1月	106.7	4.8	2.4	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6
2月	86.8	1.7	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8
3月	87.0	2.6	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	3.4	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	-1.0	-9.6	244	3.2	-9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	-5.0	-8.8	299	-8.5	-17.9
12月	106.1	1.4	-2.1	2,312	0.6	-1.3	311	-1.3	-4.6
2026年1月	105.8	3.1	-0.8	2,651	-3.9	-6.9	208	-0.4	-8.4
2月	86.4	2.5	-0.4	2,745	-5.8	-11.1	319	-4.9	20.8

(2026年4月1日に取得可能な資料より作成)

(2) 企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)									公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)		
2020年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.5	100.0	1,847.2	16.5		
2021年	105.4	97.6	93.8	97.0	97.0	87.7	96.3	118.0	1,806.3	-2.2		
2022年	105.3	103.8	100.2	106.6	101.8	122.2	100.0	120.3	1,584.1	-12.3		
2023年	103.9	97.9	93.0	97.9	104.7	102.7	99.8	117.1	1,711.6	8.0		
2024年	101.2	96.5	86.0	95.1	112.2	44.3	92.7	127.0	1,625.7	-5.0		
2025年1月	101.9	100.2	87.7	103.2	124.7	40.1	112.5	116.0	63.9	-40.7	41.8	
2月	102.0	100.5	85.9	104.5	123.1	39.6	93.8	110.3	65.7	-8.1	42.4	
3月	101.4	101.0	85.3	101.6	130.5	41.1	84.5	130.4	109.4	-33.6	40.6	
4月	100.5	96.7	92.0	89.2	118.3	36.2	93.4	126.0	226.9	25.8	42.5	
5月	101.8	97.0	86.3	95.0	121.2	29.7	100.8	123.9	184.3	-6.0	41.5	
6月	101.5	99.1	94.1	94.9	115.8	29.5	90.0	121.2	153.1	12.6	40.8	
7月	100.5	99.5	94.4	100.6	110.6	24.7	85.2	116.9	198.3	21.4	40.9	
8月	99.2	100.7	96.7	101.5	115.7	25.7	83.6	133.7	84.4	-39.5	42.5	
9月	101.0	100.7	89.7	108.2	118.2	30.6	76.1	128.8	203.7	-8.7	43.1	
10月	101.6	98.2	93.0	96.7	110.1	42.4	86.4	148.4	98.4	-6.2	40.8	
11月	99.6	96.9	89.8	95.1	114.0	35.3	86.9	141.3	56.3	-24.6	41.6	
12月	100.2	93.5	98.1	87.2	106.8	33.3	81.2	135.0	69.9	9.6	40.7	
2026年1月	104.5	96.0	95.6	91.4	126.7	30.8	91.0	132.3	57.3	-10.3	38.3	
2月	102.3								50.1	-23.8	40.3	

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2026年4月1日に取得可能な資料より作成)

(3) 雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者 数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,874	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,976	14,775	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,339	14,407	14.7	17.2
2024年	1.25	1.13	16,427	14,570	13.9	17.3
2025年1月	1.25	1.14	16,544	14,543	10.2	13.5
2月	1.25	1.13	16,514	14,557	12.3	18.3
3月	1.25	1.13	16,364	14,465	18.4	22.5
4月	1.25	1.14	16,327	14,293	15.0	20.2
5月	1.23	1.13	16,324	14,412	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,106	14,589	15.6	19.5
7月	1.22	1.10	16,037	14,572	12.3	19.2
8月	1.21	1.07	15,802	14,747	12.9	16.4
9月	1.20	1.06	15,683	14,747	12.8	18.0
10月	1.19	1.05	15,461	14,761	14.0	18.7
11月	1.19	1.03	15,357	14,960	10.8	18.3
12月	1.20	1.00	15,201	15,195	12.3	17.3
2026年1月	1.18	1.00	15,509	15,557	11.2	13.9
2月	1.19	1.01	15,372	15,215	12.5	20.2

(2026年4月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。